R9年度末にめざす状態 (施策目標)【P】

健康に関心を持つ人が増え、健康寿命が延伸している

С

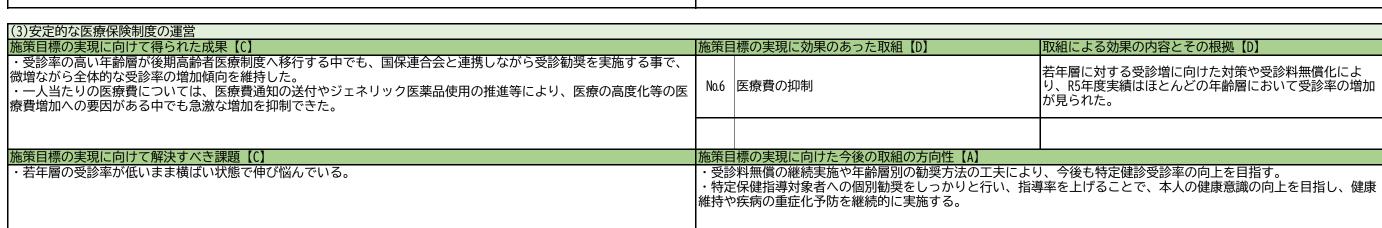
総合計画審議会からの施策目標の実現に向けた講評等

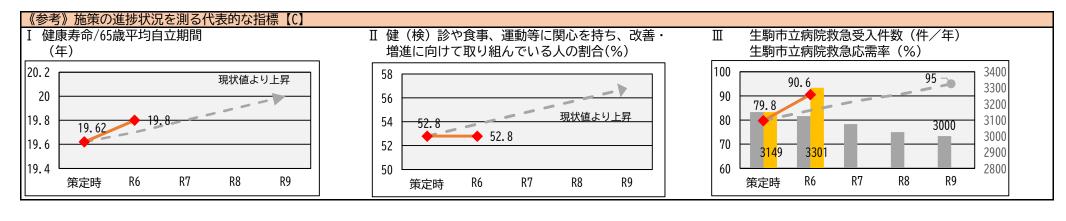
【進捗度】 A:4年後にめざす状態をすでに実現している、B:4年後にめざす状態の実現に向けて大変順調に進んでいる、C:4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる、D:4年後にめざす状態の実現には努力が必要である、E:4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である

一步度

## (1)健康的な暮らしの実践促進 施策目標の実現に向けて得られた成果【C】 施策目標の実現に効果のあった取組【D】 取組による効果の内容とその根拠【D】 ・がん検診の受診券送付対象者の範囲を拡大したことで、受診者数の増加につながった。 ・食生活や健康に関するアンケート調査やWEBアンケートによる意識調査、健康増進計画策定懇話会や食育ラウンド がん検診の延べ受診者数がR5年度と比べ12.9%(R6年度暫定 テーブルでの意見聴取などを活用することで、本市の食生活や健康に関する課題を見直し、第三期健康いこま21及び 値) 増加し、がんの早期発見・早期治療への一助となっ No.1 健康的な暮らしの実践促進 第四期生駒市食育推進計画を策定するとともに、今後の取り組むべき施策の方向性を明確化した。 ・体育施設について体育館等の改修工事を行い、スポーツの機会の確保に向けて取り組んだ。 工期延長等の事業を除き年度内に工事等を完了させることで、施 No.4 市内体育施設整備事業 設の貸止め延長の措置はせずに済んだ。 施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】 施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】 ・生活習慣病などの疾病の早期発見・重症化予防に向けて各種検診(健診)やイベント等への若い世代の参加が少な ・令和6年度に策定した第三期健康いこま21及び第四期生駒市食育推進計画の内容に基づき、生活習慣の改善や生活 習慣病予防・重症化予防につながる施策や健康づくりがしやすい社会環境の整備を行う。 ・悩みや困難を抱えた人を社会全体で包括的に支援していくため、重層的支援体制整備事業と連携し、相談体制の充実 ・市内体育施設整備事業については利用者の方に影響を少なくするため、今後予防的保全の観点からも事業を進めてい を図っているが相談窓口が充分に周知できていない。 く必要があり、指定管理者等との連携を行い、施設の適切な維持管理を行う。 ・体育施設については予算化した案件以外のことでの予期せぬ修繕等が多い。

(2)いのちを守る医療提供体制の充実		
施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
・市立病院及び市輪番体制参加病院の参加を得て、救急に関する意見交換会を開催したことや、市医師会に入会し、各種会議等に積極的に参加したことで、市内医療機関との顔の見える関係性ができつつある。	No.5 市立病院の機能強化	救急受入れ件数 3,301件/年 救急応需率 90.60%
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	
少子高齢化に伴う医療需要は増加傾向にある一方、医師の働き方改革等により、医師・看護師等医療スタッフの人材確 保が困難となっている。	限られた医療資源を有効に活用するため、令和6年度に実施したシンポジウムやワークショップ等で得られた意見等を参考に実現可能な取組について病院側と協議検討を進めていく。	





《参考》めざす状態に対する市民実感度「そう思う」+「どちらかというとそう思う」と<br/>回答した人の割合【R6.8月】47.3%